



RESEARCH

[My Account](#) | [Products](#)

PRODUCTS

INSIDE DELPHION

Search: Quick-Number Boolean Advanced

## The Delphion Integrated View

Buy Now:  [PDF](#) | [More choices...](#)Tools: Add to Work File:  [Create new Work File](#)View: [INPADOC](#) | Jump to: [Top](#) Go to: [Derwent...](#)[Email](#)

**Title:** [JP62193184A2: LIGHT EMITTING AND RECEIVING CIRCUIT](#)

**Country:** JP Japan  
**Kind:** A

**Inventor:** MIZUE KATSUYA;  
 SUZUKI TORU;

**Assignee:** HITACHI VLSI ENG CORP  
[News, Profiles, Stocks and More about this company](#)



**Published / Filed:** 1987-08-25 / 1986-02-19

**Application Number:** [JP1986000032967](#)

**IPC Code:** H01L 33/00; G09G 3/20; G09G 3/32;

**Priority Number:** 1986-02-19 [JP1986000032967](#)

**Abstract:**

PURPOSE: To enable a light emitting and receiving circuit to continuously emit light according to a condition of incident light, by providing a photo thyristor and a light-emitting element driven by current supplied from the photo thyristor.

CONSTITUTION: Photo thyristors SCR and light-emitting diodes LED are arranged on a printed circuit base PCB with their light-receiving and light-emitting surfaces on the top. A lens L supported by a support SP of molded resin or the like is arranged on each pair of the photo thyristor and the light-emitting diode. The lens L is a so-called composite lens having an optical axis directed to the photo thyristor SCR and an optical axis directed to the light-emitting diode LED. The photo thyristor SCR and the light-emitting diode LED are positioned appropriately so that the optical axes of the lens L intersect an optical axis across the light-receiving section of the photo thyristor SCR on the surface of a display face DF also functioning as an original carrying base. According to this method, forward current is continuously supplied from a cathode to the light-emitting element and the photoelectric cell is allowed to continuously emit light by itself.

COPYRIGHT: (C)1987,JPO&Japio

**INPADOC**

None [Buy Now: Family Legal Status Report](#)

**Legal Status:**

**Family:**

[Show 2 known family members](#)

**Other Abstract Info:**

DERABS G87-275129 DERG87-275129



[Nominate](#)

[this for the Gallery...](#)



© 1997-2003 Thomson Delphion

[Research Subscriptions](#) | [Privacy Policy](#) | [Terms & Conditions](#) | [Site Map](#) | [Contact U](#)

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A) 昭62-193184

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

H 01 L 33/00  
G 09 G 3/20  
3/32

識別記号

厅内整理番号

J - 6819-5F  
D - 7436-5C  
7436-5C

⑬ 公開 昭和62年(1987)8月25日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全7頁)

⑭ 発明の名称 受発光回路

⑮ 特願 昭61-32967

⑯ 出願 昭61(1986)2月19日

⑰ 発明者 水江 克弥 小平市上水本町1448番地 日立超エル・エス・アイエンジニアリング株式会社内  
⑱ 発明者 鈴木 徹 小平市上水本町1448番地 日立超エル・エス・アイエンジニアリング株式会社内  
⑲ 出願人 日立超エル・エス・アイエンジニアリング株式会社 小平市上水本町1448番地  
⑳ 代理人 弁理士 小川 勝男 外1名

明細書

1. 発明の名称

受発光回路

2. 特許請求の範囲

1. フォトサイリスタと、そのフォトサイリスタを介して供給される電流によって発光駆動される発光素子とを含むことを特徴とする受発光回路。

2. 上記フォトサイリスタは、制御信号に基づいてオンオフ動作されるスイッチ素子がそのアノードとカソードとの間に並列接続されていることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の受発光回路。

3. 上記フォトサイリスタと発光素子とは、夫々の受発光面が1点で交叉するフォトリフレクタとしての配位構成とされていることを特徴とする特許請求の範囲第2項記載の受発光回路。

4. 上記直列接続されたフォトサイリスタ及び発光素子は、ディスプレイを構成するように複数組がマトリクス配位されて成るものであること

を特徴とする特許請求の範囲第1項乃至第3項の何れか1項記載の受発光回路。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は受発光回路に関し、たとえばディスプレイに適用して有効な技術に関するものである。

〔従来技術〕

従来、発光部と受光部とをもつ光結合素子として、例えば昭和58年8月20日オーム社発行の「電子通信ハンドブック」P8-70などに記載されているように発光ダイオードで成るような発光部からの光を物に当て、その反射光をフォトトランジスタで成るような受光部で検出するフォトリフレクタ（フォトセンサとも称される）が提供されている。

本発明者は、このようなフォトリフレクタをマトリクス配位することにより、その上に伏せた原稿からの反射光に応じて当該原稿の記載情報を点灯表示したり、また、その上でライトペンによって描かれた軌跡を点灯表示可能な多機能なディス

ディスプレイパネルを検討した。

〔発明が解決しようとする問題点〕

ところで、従来のフォトリフレクタに含まれるフォトトランジスタのような受光部は、入射光によって電子、正孔対が生成されたときにだけ電流を流し、それ自体でその状態を維持するような記憶性を有するのものではない。

本発明者が検討したディスプレイパネルをこのようなフォトリフレクタによって構成しようとする場合、原稿からの反射光やライトペンによる入射光に基づいて発光部を点灯駆動するとき、受光部によって検出された信号に基づいて発光部を点灯維持するための特別な駆動制御回路が必要となり、そのための回路構成が極めて複雑になってしまふ。

本発明の目的は、比較的簡単な構成でありながら、入射光の状態に応じてそれ自体点灯維持可能な記憶性を有する受発光回路を提供することにある。

〔問題点を解決するための手段〕

のようなフォトリフレクタとしての基本的構成を有し、更に第3図に示されるディスプレイを構成するセルアレイSAの1単位を成すものである。

フォトセルPSは、第1図に示されるように、コレクタ・ベースが互いに共通にされたPNPトランジスタTr<sub>1</sub>とNPNトランジスタTr<sub>2</sub>とからなる等価回路で示されるPNP接合のフォトサイリスタSCR。このフォトサイリスタSCRのカソードにそのアノードが結合された発光素子としての発光ダイオードLED、及び上記フォトサイリスタSCRのアノード、カソードに次々コレクタ、エミッタが結合されたスイッチ素子としてのNPNトランジスタTr<sub>3</sub>から構成される。ここで、フォトダイオードLEDのカソードに結合する駆動端子T<sub>dc</sub>に接地電位のような基準電位が与えられると共に、フォトサイリスタSCRのアノードに結合する駆動端子T<sub>da</sub>に当該フォトサイリスタSCR及びトランジスタTr<sub>3</sub>に対する順方向電流が供給されている状態において、上記トランジスタTr<sub>1</sub>のベースに結合する制御端子T<sub>cb</sub>にハ

本願において開示される発明のうち代表的なものの概要を簡単に説明すれば下記の通りである。

すなわち、直列接続されたフォトサイリスタと発光素子とによってフォトリフレクタを成すと共にそのフォトサイリスタのアノードとカソードとの間にスイッチ素子が並列接続されて成るフォトセルを複数マトリクス配置してディスプレイを構成したものである。

〔作用〕

上記した手段によれば、フォトサイリスタが一旦オン動作するとそのフォトサイリスタによって発光素子に順方向電流が供給され続け、それによってフォトセル自体点灯維持可能になることにより、スイッチ素子によって発光素子を発光駆動させたときの原稿からの反射光及びライトペンからの入射光に基づく情報が点灯維持される。

〔実施例〕

第1図は本発明の1実施例であるディスプレイに含まれるフォトセルを示す回路図である。同図に示されるフォトセルPSは、第2図に示される

イレベルの制御電圧が印加されることによって、そのトランジスタTr<sub>1</sub>がオン動作されると、その期間中フォトダイオードLEDは順方向電流が供給されて発光駆動される。また、フォトサイリスタSCRのゲート電極に結合する駆動端子T<sub>dg</sub>に適当なゲートバイアス電流が供給されている状態において、当該フォトサイリスタSCRが受光すると、そのフォトサイリスタSCRは、そのターンオンに必要なゲート電流に相当するキャリアの発生によってオン動作される。これによってそれ以後フォトダイオードLEDは順方向電流が供給されて発光維持される。なお、駆動端子T<sub>dg</sub>を介してフォトサイリスタSCRのゲート電極に低電位が与えられることで、そのフォトサイリスタSCRはターンオフされる。

上記フォトセルPSは、フォトリフレクタとしての構成を有するようにされ、特に制限されないが、第2図のような構成にされる。すなわち、プリントサーキットベースPCB上にフォトサイリスタSCR及び発光ダイオードLEDが次々受

発光面を上に向け、た状態をもって配置され、それらの上部にはモールド樹脂などから構成される支持体 S P によって支持されたレンズ L が配置されている。レンズ L は、図示のようにフォトサイリスタ S C R に向けられた光軸と発光ダイオード LED に向けられたような光軸を持ついゆば複合レンズから構成されている。フォトサイリスタ S C R 、発光ダイオード LED の位置の適当な設定によって、フォトサイリスタ S C R の受光部を通る光軸とは、ガラスで形成されるような原稿台としても機能するディスプレイ面 D F の裏面の位置において互いに交叉するようにされる。

斯るフォトセル P S によって構成されるディスプレイパネルにおけるディスプレイは、基本的に発光ダイオード LED の発光動作によって行われるその駆動方式の詳細については後で説明するが、本実施例のディスプレイは 3 旗様を有する。即ち、トランジスタ T r<sub>1</sub> のスイッチ制御によって発光ダイオード LED を選択的に点灯駆動する旗様、ディスプレイパネルを構成する全てのトランジスタ

この点からたとえば可視波長を受光感度波長としてもつような Si 半導体材料で形成される。

上記フォトセル P S によって構成されるディスプレイのセルアレイ S A は、第 3 図に示されるように上記複数のフォトセル P S (第 3 図においては代表として 4 つが示される) がマトリクス配列されて構成される。同一行に配置されたフォトセルにおいて、そのフォトサイリスタ S C R のアノードは次々の行に対応する第 1 X ライン電極 X a<sub>i</sub> 、 X a<sub>j</sub> に結合されると共に、フォトサイリスタ S C R のゲートは次々の行に対応する第 2 X ライン電極 X g<sub>i</sub> 、 X g<sub>j</sub> に結合される。一方、同一列に配置されたフォトセルにおけるトランジスタ T r<sub>1</sub> のベースは次々の列に対応する Y ライン電極 Y b<sub>m</sub> 、 X b<sub>n</sub> に結合され、且つ発光ダイオード LED のカソードは回路の接地端子のうな低電位レベルの基準端子に接続されている。

上記第 1 X ライン電極 X a<sub>i</sub> 、 X a<sub>j</sub> 及び第 2 X ライン電極 X g<sub>i</sub> 、 X g<sub>j</sub> は次々ターミナル T a<sub>i</sub> 、 T a<sub>j</sub> 及び T g<sub>i</sub> 、 T g<sub>j</sub> を介して図示しない X ライン駆動回路

T r<sub>1</sub> を所定時間オン状態にして発光ダイオード LED を点灯させると共に、その光をディスプレイ面 D F に設置された原稿 D に当て、そこからの反射光に応じてフォトサイリスタ S C R を動作させ、それ以降オン状態のフォトサイリスタ S C R によって供給される順方向電流で所定の発光ダイオード LED を点灯維持させる態様、及びディスプレイ面 D F 上に移動される図示しないライトペンから放射される光によってフォトサイリスタ S C R をオン動作させ、それ以降オン状態のフォトサイリスタ S C R によって供給される順方向電流で所定の発光ダイオード LED を点灯維持させる態様である。

このような表示態様を有する発光ダイオード LED は、その性質上可視波長を発光波長としてもつことが必要であるから、たとえば AlGaAsなどの化合物半導体材料で形成される。これに対して、フォトサイリスタ S C R は、特に制限されないが、そのような発光ダイオード LED からの可視波長に良好な受光感度を有することが望ましく、

回路の出力端子に結合され、また、 Y ライン電極 Y b<sub>m</sub> 、 X b<sub>n</sub> は次々ターミナル T b<sub>m</sub> 、 T b<sub>n</sub> を介して図示しない Y ライン駆動回路の出力端子に結合される。

上記 X ライン駆動回路は、フォトサイリスタ S C R のスイッチ動作及び発光ダイオード LED の発光駆動に必要な正電流即ち順方向電流を第 1 X ライン電極 X a<sub>i</sub> 、 X a<sub>j</sub> に供給し、且つ、フォトサイリスタ S C R が図示しないライトペンからの光及び発光ダイオードからの光を受けてターンオンするに必要な順方向のゲートバイアス電流及びターンオフに必要な逆方向電流を第 2 X ライン電極 X g<sub>i</sub> 、 X g<sub>j</sub> に与えるように構成される。ここで、フォトサイリスタ S C R のアノード電圧 - 電流特性は概略第 4 図に示されるようになっている。即ち、フォトサイリスタ S C R は、上記第 2 X ライン電極 X g<sub>i</sub> 、 X g<sub>j</sub> を介して順方向のゲートバイアス電流が供給されるときオフ状態において特性線 ① で示される特性を有し、その特性におけるターンオン電圧 V<sub>1</sub> よりも低い電圧 V<sub>0</sub> がそのアノード

ドに印加されるように第1 X ライン電極 X<sub>ai</sub>, X<sub>aj</sub>を介して順方向電流が供給される。フォトサイリスタ SCR に表示しないライトペンからの光又は発光ダイオード LED からの光が入射すると、それによってフォトサイリスタ SCR のゲート電流が増大して第4 図の特性線②で示される特性を探る。その結果、そのときのターンオン電圧 V<sub>2</sub> が上記電圧 V<sub>0</sub> 以下になって当該フォトサイリスタ SCR がターンオンする。フォトサイリスタ SCR のオン状態における特性は第4 図の特性線③で示される。フォトサイリスタ SCR のターンオフ動作は、第2 X ライン電極 X<sub>gi</sub>, X<sub>kj</sub>を介してそのゲートに逆方向電流が供給されることなどによって達成される。

上記 Y ライン駆動回路は、オン状態にすべきトランジスタ T<sub>r3</sub> のベースに結合された Y ライン電極を比較的高いレベルに駆動するように構成される。

上記 X 及び Y ライン駆動回路は、切換設定可能な表示モード、即ち、走査形表示モード、ライト

ペン入力情報表示モード、原稿入力情報表示モードに応じて駆動制御される。

走査形表示モードが設定されると、X 及び Y ライン駆動回路は、発光ダイオード LED を第3 図の左から右方向へそして1行づつずらすようにして選択的に発光駆動する所謂ラスター走査的な駆動方式を探る。例えば、第1 X ライン電極 X<sub>ai</sub>に順方向電流が供給されると、Y ライン電極 Y<sub>ba</sub>, Y<sub>bn</sub>は表示データに応じたレベルに、つまり、発光すべきダイオードに結合されたトランジスタ T<sub>r3</sub> のベースにつながる Y ライン電極に対してはハイレベルに、そうでないものに対してはロウレベルに、順次左側から選択的に駆動される。Y ライン電極がハイレベルに駆動されると、それに結合するトランジスタ T<sub>r3</sub> はオン状態にされる。その結果、第1 X ライン電極 X<sub>ai</sub>に結合するフォトセルに含まれる発光ダイオード LED は、それに結合するトランジスタ T<sub>r3</sub> のオン期間中だけ順方向電流が供給され、それによって第3 図における左側のものから選択的に発光駆動される。第3 図にお

ける左端の Y ライン電極が駆動された後は、第1 X ライン電極 X<sub>ai</sub>に対する順方向電流の供給が断たれ、次いで次行の第2 X ライン電極 X<sub>aj</sub>に順方向電流が供給され、以上記同様に画像表示データに応じて Y ライン電極が駆動される。このような X 及び Y ライン駆動回路の動作によって所定の発光ダイオードが順次点滅駆動されることにより、所望の画像が所謂ラスター走査形式でディスプレイに表示される。

ライトペン入力情報表示モードが設定されると、X ライン駆動回路は、全ての第1 X ライン電極 X<sub>ai</sub>, X<sub>aj</sub>に対して、フォトサイリスタ SCR のターンオン電圧を第4 図の V<sub>0</sub> とするような順方向電流を供給すると共に、全ての第2 X ライン電極 X<sub>gi</sub>, X<sub>ki</sub>に対して第4 図の特性線①で示されるようなフォトサイリスタ SCR の特性が得られるような順方向のゲートバイアス電流を供給する。一方 Y ライン駆動回路は、全ての Y ライン電極 Y<sub>ba</sub>, Y<sub>bn</sub>を接地電位のような比較的低いレベルに駆動して全てのトランジスタ T<sub>r3</sub> をオフ状態とす

る。

このようにして X 及び Y ライン駆動回路が動作されたとき、第2 図に示されるディスプレイ面 D/F 上で表示しないライトペンが移動されると、その軌跡に沿った位置のフォトサイリスタ SCR はそのライトペンからの放射光を受ける。そうすると、そのフォトサイリスタ SCR のゲート電流が増大し、第4 図の特性線②で示されるように当該フォトサイリスタ SCR のターンオン電圧が V<sub>0</sub> 以下となってそのフォトサイリスタ SCR はオン状態とされる。フォトサイリスタ SCR がオン状態にされると、発光ダイオード LED は第1 X ライン電極からの順方向電流が供給されて発光駆動される。フォトサイリスタ SCR は一旦ターンオンすればその後にゲート電極が逆方向バイアスされない限りそのオン状態を維持するから、ライトペンがそのフォトサイリスタ SCR の上を通過して入射光が断たれた後も当該発光ダイオード LED は点灯維持される。したがって、本ディスプレイは、それ自体ライトペンからの光情報を対して

記憶性を有し、そのライトペンの軌跡に応じた画像を表示維持することができる。

原稿入力情報表示モードが設定されると、Xライン駆動回路は、全ての第1 Xライン電極  $X_{oi}$ ,  $X_{aj}$  に対して、フォトサイリスタ SCR のターンオン電圧を第4図の  $V_0$  とするような順方向電流を供給すると共に、全ての第2 Xライン電極  $X_{gi}$ ,  $X_{gj}$  に対して第4図の特性線①で示されるようなフォトサイリスタ SCR の特性が得られるような順方向のゲートバイアス電流を供給する。一方 Y ライン駆動回路は、所定時間全ての Y ライン電極  $Y_{bi}$ ,  $Y_{bn}$  を電源電圧レベルのような比較的高いレベルに駆動して全てのトランジスタ  $T_r$  をオン状態とする。それによって、全ての発光ダイオード LED はそのアノードに順方向電流が供給されることによって所定時間発光駆動される。

発光ダイオード LED から放射される光は第2図に示されるディスプレイ面 DF 上に情報記載面を下に向けて載せられている原稿 D に当たられ、そこからの反射光は白地に黒で記載された原稿情

報に応じた光量をもって当該発光ダイオード LED と対を成してフォトリフレクタの構成を採る所定のフォトサイリスタ SCR に受光される。そうすると、原稿 D の白地に記載されている黒の情報記載部分に位置するフォトサイリスタ SCR は原稿 D から殆ど反射光を受けずにオフ状態を維持する。一方、原稿の白地部分に位置するフォトサイリスタ SCR は原稿 D からの比較的強い反射光を受けてそのゲート電流が増大し、第4図の特性線②で示されるように当該フォトサイリスタ SCR のターンオン電圧が  $V_0$  以下となってそのフォトサイリスタ SCR はオン状態とされる。フォトサイリスタ SCR がオン状態にされると、それと対を成す発光ダイオード LED にはそのフォトサイリスタ SCR によって形成される電流通路を介して第1 Xライン電極からの順方向電流が供給される。その後、Y ライン駆動回路は Y ライン電極  $Y_{bi}$ ,  $Y_{bn}$  を比較的低いレベルに駆動して全てのトランジスタ  $T_r$  をオフ状態にし、それによって当該トランジスタ  $T_r$  によって形成される電流通路

が遮断される。その結果、原稿 D の白地に記載されている黒の情報記載部分に位置する発光ダイオード LED はその発光駆動が停止され、原稿の白地部分に位置する発光ダイオード LED はオン状態のフォトサイリスタ SCR を介してその後も順方向電流が供給されることによって発光維持される。フォトサイリスタ SCR は一旦ターンオンすればその後にゲート電極が逆方向バイアスされない限りそのオン状態を維持するから、ディスプレイ面 DF から原稿 D が取り去られてもそのフォトサイリスタ SCR のオン状態は維持され、それによって、それと対を成すべき発光ダイオード LED は点灯維持される。即ち、原稿 D が取り去られた後のディスプレイ面 DF には、原稿 D の白地部分に対応した位置の発光ダイオード LED が発光維持されると共に、原稿 D の白地に記載されている黒の情報記載部分に位置する発光ダイオード LED が消灯される。したがって、本ディスプレイは、それ自体で原稿情報を記憶してそれに応じた画像が表示維持される。

本実施例によれば、以下の効果を得ることができる。

- (1) ディスプレイを構成するフォトセルにはアノードを介して順方向バイアス可能なフォトサイリスタ SCR と発光ダイオード LED とが直列接続された回路が含まれるから、ライトペンなどの外部光の入力状態がフォトサイリスタ SCR のターンオン動作によって記憶され、それによってディスプレイそれ自体で外部光の入力状態に応じた画像を点灯表示維持することができる。
- (2) フォトサイリスタ SCR と発光ダイオード LED とはフォトリフレクタとしての構成を有し、且つ発光ダイオード LED はトランジスタ  $T_r$  を介して順方向バイアス可能にされているから、そのトランジスタ  $T_r$  を介して一時的に発光ダイオード LED を点灯駆動して原稿に光を当て、その原稿からの反射光に応じてフォトサイリスタ SCR を動作させることにより、原稿記載情報のような面情報が一括で而入力されると共にディスプレイそれ自体がその情報を記憶してその情報に応じ

た画像を点灯表示維持することができる。

(3) 画像信号に基づいてトランジスタ  $T_{r_3}$  が駆動制御されることにより、マトリクス形ディスプレイ同様の画像表示を行うことができる。

(4) 上記効果(1)及び(2)より、ディスプレイ面からの光情報をそれ自体で記憶してその情報を表示維持することができるディスプレイを極めて簡単な構成によって得ることができる。

(5) 上記効果(1)乃至(3)より、簡単な構成によって多機能ディスプレイを得ることができる。

以上本発明者によってなされた発明を実施例に基づき具体的に説明したが、本発明は上記実施例に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲において種々変更可能であることはいうまでもない。たとえば、上記実施例においてはフォトサイリスタ SCR、発光ダイオード LED 及びトランジスタ  $T_{r_3}$  によってフォトセル PS を構成したが、ライトペンのような外部光の直接入力によってのみ画像を表示するようなディスプレイにあっては、そのフォトセル PS からトランジスタ

に限定されるものではなく、たとえば、光結合素子単体としてセンサなどにも適用することができる。

#### 【発明の効果】

本願において開示される発明のうち代表的なものによって得られる効果を簡単に説明すれば、下記の通りである。

すなわち、アノードを介して順方向バイアス可能なフォトサイリスタと発光素子とが直列接続されてフォトリフレクタを成すと共にそのフォトサイリスタのアノードとカソードとの間にスイッチ素子が並列接続されて成るフォトセルを複数マトリクス配置したから、当該フォトサイリスタが一旦オン動作するとそのカソードから順方向電流が発光素子に供給維持され、それによってフォトセル自体点灯維持可能になることにより、スイッチ素子を発光駆動させたときの原稿からの反射光及びライトペンからの入射光に基づく情報をフォトセル自体で記憶してその情報を表示維持することができるディスプレイを極めて簡単な構成によっ

$T_{r_3}$  を省略すると共にフォトリフレクタとしての配置構成を廃止することができる。また、トランジスタ  $T_{r_3}$  は、図面に示されるようなバイポーラトランジスタに限定されず、MOSトランジスタやその他種々のスイッチ素子に変更可能である。

第2図のような構造は、変更可能である。例えば、フォトサイリスタ SCR と発光ダイオード LED は、シリコン半導体基板上に化合物半導体層を積層させる所謂複合モノリシック技術によって1つの半導体基板上にその両方が形成された構成にされてもよい。更に、レンズは、例えば、スピンドル・オン・ガラス形成技術のようなガラス層形成技術、斯るガラス層を選択的にエッティング除去するエッティング技術、及び残存するガラス層を加熱溶解させその際のガラス層の表面張力を利用する技術のようないわばマイクロレンズ形成技術によって半導体基板上に直接的に形成されてもよい。

以上の説明では主として本発明者によってなされた発明をその背景となった技術分野であるディスプレイに適用した場合について説明したが、そ

て得ることができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の1実施例であるディスプレイに含まれるフォトセルを示す回路図。

第2図はフォトセルのフォトリフレクタとしての構成を説明するためのディスプレイの概略断面図。

第3図はディスプレイのセルアレイを示す回路図。

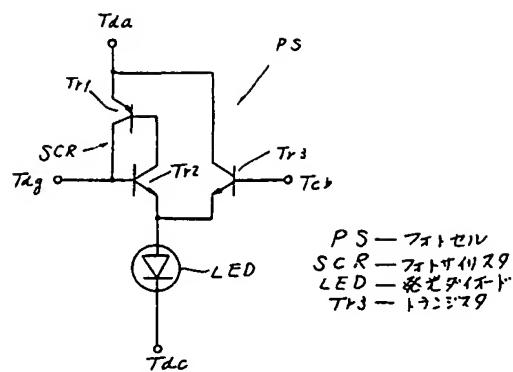
第4図はフォトセルに含まれるフォトサイリスタの特性を示す説明図である。

S A …セルアレイ、PS …フォトセル、SCR …フォトサイリスタ、LED …発光ダイオード、 $T_{r_3}$  …トランジスタ、 $X_{ai}, X_{aj}$  …第1 X ライン電極、 $X_{ki}, X_{kj}$  …第2 X ライン電極、 $Y_{bm}, Y_{bn}$  …Y ライン電極。

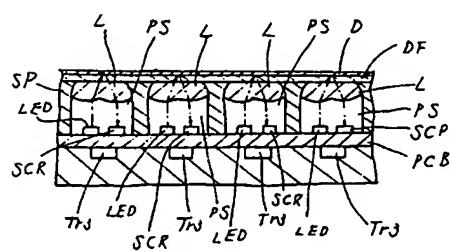
代理人 井垣士 小川 勝男



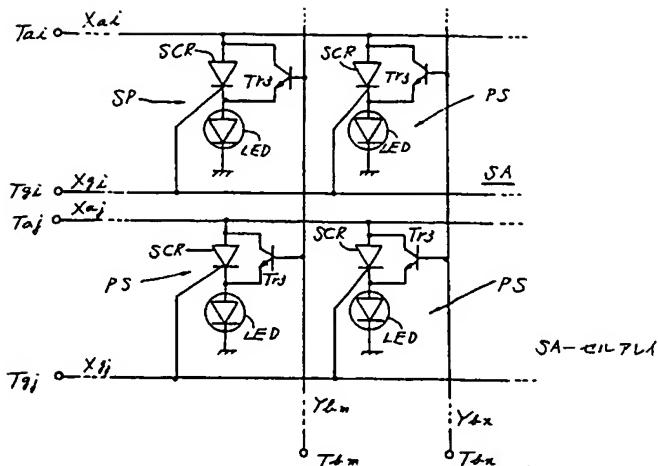
第 1 図



## 第 2 図



第 3 回



## 第 4 図

